

週刊

鋼構造ジャーナル

2009

1 / 1

NO. 1385

通刊(毎週月曜日発行)・購読料・1年48,000円、6ヵ月27,000円(送料別)・開始05年9月26日第三種郵便物認可・発行所・株式会社 鋼構造出版 発行人・田中正幸 編集人・大崎勉 本社・東京都中央区日本橋茅場町1-2-2 三都ビル5階 〒103-8425 電話・東京03(5642)7011(代表) 井ノ口06(42)7017 大阪支社・大阪市西区南港町1-11-2 本町2ビル6F 〒550-0865 電話06(4536)2801(代表) 井ノ口06(4536)7013 札幌支社・札幌市白石区支庁4条3丁目2-23 〒060-0834 電話011(878)7696 井ノ口01(878)3306 福沢銀行口座・当社は銀行振込指定口座 1044873 郵便振替136 東京00136-9-15712

おもな記事

- 09年の鉄骨需要展望／鋼材価格、与信など課題山積 (2面)
- 「業務提携と技術提携の両立は可能」／駒井鉄士…… (5面)
- 新春インタビュー 大高 善靖 (8面) 山本 康弘 (9面)
- 井上 俊之 (10面) 石川 正樹 (11面) 西山 功 (13面) 岡田 久志 (15面)
- 川田 忠樹 (16面) 菊池 昌利 (17面) 上柿 範兼 (18面)

- 猪砂 利次 (19面) 宮田 隆司 (21面) 木原 頌美 (23面)
- 橋本 順次 (25面) 小南 忠義 (26面) 高梨 晃一 (27面)
- 坂 眞澄 (28面) 藤田 勲 (29面) 小山 巖 (30面) 三木 桂吾 (31面)
- 國谷 七三夫 (32面) 染矢 茂利 (33面)
- (廿年) 年男登場…… (34、35面)

40ページ



高度な技術力が
作りあげる作品

大都市圏では近年、再開発工事が数多く進められている。高強度の鋼材と、世界の最先端をゆく建設技術が構築する未来世界
現場に運抵込まれる鉄骨は、高度の加工技術を有する鉄構ファブリケーターが優れた技術者、技能者とともに作り上げた作品
真冬の透明感が感じられる空のもと、建設現場では大型クレーンが鉄骨を運び上げ階層を高めていく。高度な技術力の結集だ

非破壊検査の市場規模拡大

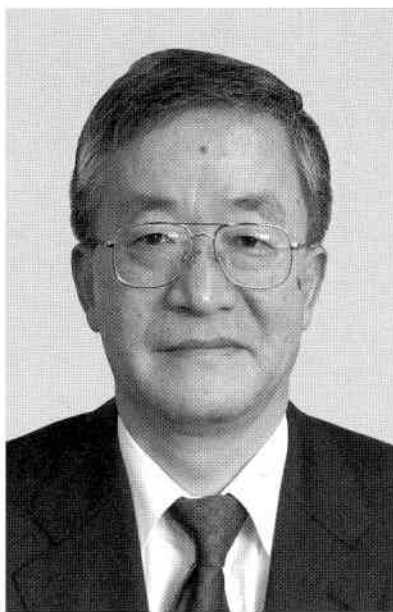
アジア諸国との交流を活発に

新春インタビュー

2009年の課題と方針

坂 眞澄氏

日本非破壊検査協会会長



——今年、気にかかること。

坂 世の中が不景気になる
と、安全、信頼性から経費の
削減を考える事業所が出てこ
ないかというのが最大の懸念
材料になっている。それは日
本全体の安全とか信頼性に対
する考え方の問題になる。

——今の不況で非破壊検査
の市場が収縮することにも。
坂 日本の非破壊検査業界
の国内市場規模は、国の社会
保障費の圧縮額と同じぐらい
で約2030億円という試算
値がある。これが大きな額か
とえば、例えば、平均的な
アウトレットモール1カ所の
年間売上高は約80億円だから、

その高だか25倍、アウトレッ
トモール25カ所分ではない。

別の例では、ユニフォーム業
界の市場規模は7000億円
で、非破壊検査はその3・5
分の1になる。日本が安全で
信頼性の高い国になるには非
破壊検査がもっと大きな市場
規模となることも大切で、今
後、一つの分野として補強し
ていく必要性がある。そのた
めに協会は非破壊検査の基盤
強化を行っており、各方面の
皆さんにご理解を得られるよ
うに働きかけていきたい。

——協会外への働きかけか。
坂 どちらかと言えば、こ
れまで非破壊検査の内部で話

していることも多いので、外
部の人々にもっと話していく
ことが重要になる。特に、国
への働きかけは重要になる。

——韓国の非破壊検査技術
振興法も研究されているが。
坂 韓国は大統領令で一気
に法を実行する。日本は徹底
した民主主義のプロセスで、
決定に至る前の議論に時間を
要する。したがって、法制化
には粘り強く多方面に働きか
けていく必要性がある。

——協会内部の基盤強化は。
坂 内部的にも新しい改革
を実行している。新しい学術
組織を実行に移すための整備。
あるいは、昨年12月からスタ

ートした公益法人化に関して
も各方面から精力的に情報を
集めながら検討を進めている。

——国際的な活動は。

坂 第13回アジア環太平洋
非破壊試験会議を横浜で11月
に開催する。それに際して、
第3回となるアジア諸国との
ワークシヨップを協会の主導
で行う。アジア各国は日本非
破壊検査協会に期待するところ
は非常に大きいと、昨年11
月のワークシヨップで感じた。
現在、今年のワークシヨップ
を通して今後どのような展開
につなげるかを検討している。

——中国との交流も。

坂 昨年10月、上海で世界
非破壊試験会議が開催され、
そのとき中国の非破壊検査協
会にあたる無損検測学会の会
長と会談した。日本と中国の
交流のあり方に話が及び、も
っと具体的な交流をしていか
なければならぬと合意した。
どんな分野で交流を持つのか、
両国の協会ですり合わせを始
めている。ちなみに、無損検
測学会は中国機械学会の中に
入っており、中国機械学会で
一番人数が多いのが溶接、二
番目が非破壊検査だと同った。

(東北大学教授)